

ゆたか看護部通信 No4

今回は地域との窓口である「地域医療連携室」をご紹介します。



地域医療連携室（以下連携室）は、患者様が住み慣れた地域で安心して生活できるように、医療機関や施設と連携を取り合い、切れ目のない医療を提供するための部門です。

開業医の先生方や地域の医療機関との連携の窓口として、ご紹介頂いた患者様・ご家族がスムーズに診療ができるように、また、外来患者様や入院患者様・ご家族からの医療や福祉に関する様々な相談の窓口として、地域医療の充実と発展に努めています。

平成31年4月に看護師2名が連携室に配置され、医療ソーシャルワーカー3名、事務員2名の計7名で、病院と地域をつなぐ「窓口」として、“明るく笑顔で”をモットーに日々業務を行っています。

連携室看護師は入院時に患者様・ご家族と面談し、入院前の生活状況や疾患のコントロール状況・入院に至った経緯・家族の介護状況やサービスの利用状況、入院に際しての不安や困りごとを確認します。

要介護認定をお持ちの患者様は、ご本人・ご家族の了承を得てケアマネジャーに連絡し情報提供をお願いしており、面談により得られた情報は、病棟看護師に報告し情報の共有を行っています。専従の退院調整看護師は医療ソーシャルワーカーと協力し、地域の関係機関と連携を図り、多職種と共に入院決定時から退院に向けての準備を整え、患者様やご家族が安心して退院を迎えられるように支援・調整を行っています。

また、患者サポート相談室では、患者様やそのご家族が抱く治療や療養生活の不安、医療・福祉サービスのご質問等、様々なご相談に応じています。

地域医療連携室 看護師長 永富直美



連携室スタッフ



連携室看護師



患者サポート相談窓口



入退院支援カンファレンス風景



【編集後記】

地域医療連携室は、病院と地域をつなぐ窓口です。院内外の多職種のまとめ役となって、当院に通院する患者様・入院中の患者様が安心な療養生活が送られるようにサポートしています。

地域医療連携室・患者サポート相談窓口は、正面玄関から入って右手すぐのところにあります。困ったことがあれば、尋ねてみてください。いつでも、明るい笑顔でお待ちしています。